

派遣業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	従業員を就業場所から自宅まで送迎するため運転していたのだが、青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	72	500～999
1	18～19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	37	500～999
1	18～19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	55	500～999
1	18～19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	35	500～999
1	14～15	社用車で走行中、前方3台の車両が減速したが、前方注意不足により気付くのが遅れ、追突を避けるため急ハンドルし、対向車線を越え空地に進入した。咄嗟のことでブレーキを踏めず、空地石壁に衝突した自損事故である。	82	1～9
2	8～9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	61	50～99
2	8～9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	30	50～99

2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	51	50~ 99
2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	53	50~ 99
3	10~11	高速道路にて渋滞待ちをしていたところ、後方から4tトラックが衝突し、シートに頭を強打した。	55	100 ~ 299
3	17~18	技術管理者が業務中に派遣先で打ち合わせの為、車で移動中、ゆるやかなカーブで対向車がセンターラインをはみ出し、正面衝突となった。	40	100 ~ 299
3	15~16	小型タンクローリー車（3t）にて重油の配送中、車両が半横転し、被災者は助手席にいて掴まるものがなかったため、頭部や全身を強打した。	53	100 ~ 299
4	7~8	被災者（甲）は自宅を出て、自転車で就業場所へ向かっていた。商店街を走行中、左側から急に走って飛び出してきた子供を避ける為にハンドルを右に切った際、バランスを崩し転倒し、頭部、顔面等を負傷した。なお、甲は通常、事務作業や顧客開拓の業務に従事しているが、事故日当日は人員配置の都合上、派遣先での就業となっていた。	26	1~9
4	15~ 16	駅周辺の公道で電動自転車の自走試験を行っている最中、赤信号停止後、重いギアで再出発した際に十分なスピードが出ず、バランスを崩し立ちこぎした際に転倒し、右肩を骨折した。	56	100 ~ 299
5	16~ 17	運転中、赤信号で停止している際に後ろの車に追突された。後方車の携帯電話を操作していたことによるよそ見運転が原因である。	24	100 ~ 299
		当社開催のキャリアアップ研修へと向かう為に同僚が運転する乗用車の助手席に		

5	8~9	乗って移動していた。向かう途中の信号のある交差点で、当方が右折しようとして信号が青から黄色へと変わり、対向車が止まるだろうと進入した際に、対向車と交差点内で衝突した。この時の衝撃で助手席に乗っていた被災者は車から出られない状況となった。	57	300 ~ 499
6	5~6	被災者が勤務終了後に当社の送迎車両にて帰宅する際、車道に右折して出た時、左方から直進してきた相手方車両の右前部フェンダーと当方左後部フェンダーが衝突した。被災者は後部座席に乗車しており、衝突の際に衝撃で首を負傷した。	30	30~ 49
6	6~7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	41	50~ 99
6	6~7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	42	50~ 99
6	6~7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	47	50~ 99
7	0~1	厩舎前において馬運車から降ろす際、該馬が物見し飛び降りその際左足第4・5指に着地され、同部を負傷した。負傷当日より痛さがあり我慢していたが翌日腫れが広がっているため、救護室にて診てもらい処置してもらい、骨折していると言われ湿布を貼って我慢した。	56	10~ 29
7	4~5	高速道路上で車両が故障したため、発煙筒をつけようと車外に出たところ、後続の3tトラックが車両に追突され、追突された車両がドライバーに接触し、怪我を負った。	31	300 ~ 499
7	14~ 15	運転中にエアコン操作をしようとした際、誤ってハンドルを左に切ったため、道路左側の縁石に接触して右にハンドルを弾かれた。慌てて左にハンドルを戻したところ、そのまま歩道に乗り上げ、街路樹・カーブミラーに接触し、その衝撃でエアバッグが破裂した。その際の爆発で右手首に火傷・打撲、また衝突の衝撃で両脚膝部と腰部等に打棒を負った。	70	1000 ~ 9999

7	23～ 24	派遣先より、駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	37	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	30	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	51	500 ～ 999
7	23～ 24	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し、受傷した（自損事故）。	51	500 ～ 999
9	13～ 14	鉄のリール（重量物）を箱から取り出す際に痛みがでた。	20	1000 ～ 9999
9	20～ 21	業務が終わり、派遣先の車庫にトラックを駐車し、事務所へ戻る為バイク（自己所有・通退勤使用）にて走行していた。片側2車線の道路を走行中、交差している道路左方面より乗用車が自身が走行している車線に右折をして来ようとしているが、乗用車は一旦停車したが当方バイクが通りすぎる前に右折を再開した為、乗用車とバイクが衝突した。救急搬送され、医師より左手・左前腕擦過傷、腰部打撲傷と診断された。	44	30～ 49
9	16～ 17	車での出張帰路中、当事者が後方座席から助手席へ移動する際、運転者が出口付近の車輛渋滞で急ブレーキをかけた。その際、当事者が前方のダッシュボード及びフロントガラスに頭部、鼻を強打した。	53	50～ 99

10	19～ 20	配達に向かう路上を走行中、駐車中の車輛に追突し転倒。労災事故を発生させた。	65	500 ～ 999
10	18～ 19	台風による豪雨の中、軽自動車で宅配配送作業中、民家に囲まれた細い道路と豪雨での視界悪化があいまって、交差点に気付くことが出来ずに時速20kmで侵入し、右から来た軽バン車両に交差点内で追突を受けた。背中、腕、腰の打撲との診断となる。	41	30～ 49
11	11～ 12	訪問活動において、顧客訪問途中で突風に煽られ自転車のハンドル操作を誤り、横転した。当時は駅方面に進行していたが、横転時、左側に倒れた場所に高さ30cmのコンクリートの基礎があり、横転した自転車と基礎部分に挟まれ左足の膝下を裂傷し、病院で2針を縫う、又、挟まれた時、打撲をしたことにより水膨れとなっている。	59	10～ 29
11	14～ 15	勾配のきつい下り坂で、除草作業中に停車させた作業車が、サイドブレーキが不十分で動き出してしまい、停車させようと運転席側に回り轆かれてしまった。	73	1～9
12	14～15	路上にて、自販機配送助手の業務中、トラックの車道側のスライドドアを開けて、積荷である飲料商品をピッキングおよび荷卸し作業をしていた。通常通りトラックの車道側でピッキング伝票を見ながら作業していたところ、賃走中のタクシーが客を降車させようとして車線を割って入り、タクシーのサイドミラーが左腰部から右臀部にぶつかり負傷した。	46	30～ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)